

# 第 1 章 総合政策部

## 第 1 節 総合政策課

### 〔総括概要〕

総合政策課の主な分掌事務は、市政の総合的な企画調整、総合計画の進行管理、特命事業の企画調整、国際及び国内交流事業、及び各種統計調査の実施等である。

市政運営の根幹である総合計画については、平成25年度に策定した計画が令和4年度で終了となることから、第2次栃木市総合計画を策定した。

また、現行の総合計画については、全ての事務事業を対象に、栃木市行政評価制度に基づき、内部評価の後、栃木市市民会議委員による外部評価を実施し、PDCAサイクルによる進捗管理を行った。更に、計画的な市政運営を推進するため、令和5年度、令和6年度の実施計画を策定した。

庁議、部長会議等については、政策、施策等の決定、全庁的な意見調整等、重要案件の審議を行う場として、定期的を開催した。

国際交流事業については、栃木市国際交流協会への委託事業として、外国人住民向けに外国語による相談窓口の開設や生活情報の提供等を行った。

国内交流事業についても、東京都中央区へのイベント出展は感染拡大防止の観点から中止されたものの、友好親善都市である北海道滝川市とは栃木市滝川市友好親善都市盟約40周年記念式典を開催し、今後の交流について確認した。

統計関係では、学校基本調査、就業構造基本調査、住宅・土地統計調査単位区設定の基幹統計調査のほか、県単統計調査として毎月人口調査を実施した。

プロスポーツ連携事業については、市内で活動を行う各プロスポーツ団体と連携し、スポーツを通じた地域の活性化・健康づくりの推進を図るために締結した連携協定の実践のほか、各スポーツ団体の市内活動拠点整備に向けて、関係機関や地元等の調整に努めた。

また、プロスポーツチームの試合や練習等を見たり、選手等と触れ合ったりすることで、市民がスポーツの楽しさを知り、スポーツを行う動機づけとなることを目指して設立された栃木市民スポーツ応援団“Strawberry Hearts”を運営し、市内で活動する栃木シティフットボールクラブや栃木ゴールデンブレーブス、宇都宮ブリッツェンと市民との架け橋となるべく努めた。

渡良瀬サイクルパーク管理運営事業については、令和4年4月29日にオープンとなった渡良瀬サイクルパークに関し、管理運営の委託及び利用状況等の調査を委託し、令和5年度以降有料公園施設として運用を図るための検討を行った。

### 政策総務係

#### 1 国際交流関係

##### (1) 友好・姉妹都市との交流

- ア 中国浙江省金華市  
メール等オンラインによる交流の継続
- イ 米国インディアナ州エバンズビル市  
姉妹都市留学プログラムの参加者募集の継続

(2) 外国人住民支援事業

- ア 栃木市国際交流協会及び市役所において、外国人相談窓口の開設、外国語による生活情報の提供を行った。

・相談内容内訳 (単位：件)

相談内容	件数
通訳・翻訳依頼	245
税金・年金・保険	237
学校教育	102
ビザ・在留資格・帰化	137
福祉・医療費・生活費	172
その他	2,143
合計	3,036

イ 多言語情報コーナー

広報とちぎの一部を抜粋し、翻訳したものを発行した。また、FMくららにおいて、多言語による情報の提供を行った。(毎月1回)

- ・対応言語：7か国語(英語、中国語、スペイン語、フィリピン語、ネパール語、ベトナム語、シンハラ語)

2 国内交流関係

(1) 北海道滝川市

友好親善都市である滝川市と書面等による交流を行った。

- ア 2022たきかわ菜の花まつり(新型コロナウイルス感染症の影響で規模縮小開催)

イ 栃木市・滝川市友好親善都市盟約40周年記念式典

- ・実施日 7月28日(木)
- ・会場 ホテル三浦華園
- ・内容 両市長、両議長により栃木市・滝川市交流推進の確認書を締結した。

ウ 第43回栃木市の産業と物産展

- ・実施日 11月12日(土)、13日(日)
- ・会場 蔵の街第一駐車場
- ・内容 物産販売、観光PR

(2) 東京都中央区

東京都中央区と書面による交流を継続した。なお、中央区との交流は、平成14年度に本市の山車が日本橋創架400年記念パレードへ参加したことを契機としている。

- ア 第32回中央区大江戸まつり盆おどり大会

(新型コロナウイルス感染症の影響で規模縮小開催)

3 両毛線整備促進期成同盟会（高崎市、前橋市、伊勢崎市、桐生市、みどり市、足利市、佐野市、栃木市、小山市）

両毛線の施設整備等の促進を図るため、両毛線整備促進期成同盟会の活動に参加した。

・活動内容

実施日	内 容	場 所
6月10日（金）	幹事会	美喜仁桐生文化会館 （桐生市市民文化会館）
7月28日（木）	総会	文書による承認
10月17日（月）	実施事業アンケート	文書による実施
2月22日（水）	要望活動	文書による実施
2月中旬	チラシ配布	各市町内中学3年生に配布
3月下旬	チラシ・ポスター配布	市内駅、市有施設へ配付及び掲示

4 東北新幹線小山駅停車増便促進期成同盟会（結城市、筑西市、足利市、栃木市、佐野市、小山市、真岡市、下野市）

小山駅に接続する宇都宮線、両毛線、水戸線沿線地域の発展と地域住民の利便性の向上を図るため、東北新幹線小山駅停車増便促進期成同盟会の活動に参加した。

・活動内容

実施日	内 容	場 所	備考
6月15日（水）	幹事会	文書による承認	
9月 5日（月）	総会	文書による承認	
3月 3日（金）	要望活動	文書による実施	

5 北関東・新潟地域連携軸推進協議会（新潟市、加茂市、長岡市、柏崎市、湯沢町、沼田市、渋川市、前橋市、高崎市、伊勢崎市、玉村町、みなかみ町、足利市、佐野市、小山市、栃木市、水戸市、茨城町、ひたちなか市）

北関東及び新潟地域との連携を図るため、北関東・新潟地域連携軸推進協議会の活動に参加した。

・活動内容

実施日	内 容	場 所	備考
5月27日（金）	総会	文書による承認	
9月 7日（水）	第1回担当課長会議	文書による承認	
2月27日（月）	第2回担当課長会議	文書による承認	

6 関東どまんなかサミット会議（古河市、加須市、野木町、板倉町、栃木市、小山市）

茨城県、埼玉県、群馬県及び栃木県の県境に位置する隣接地方自治体が相互に協力して、魅力ある圏域の形成を目指す関東どまんなかサミット会議の活動に参加した。

・活動内容

実施日	内 容	場 所	備考
8月 9日（火）	第1回幹事会	古河市役所	
12月 5日（月）	第2回幹事会	文書による承認	
1月25日（水）	サミット会議 （埼玉県済生会加須病院視察）	埼玉県済生会 加須病院	

7 マイナンバーカード普及促進事業に関すること

マイナンバーカードの普及を促進するため、令和4年11月から令和5年2月末にかけて市有施設及び商業施設等において出張申請サポートを行った。また、令和5年1月からは市内郵便局29局における申請受付を開始した。

(1) マイナンバーカード出張申請サポート

月	開催回数（回）	受付件数（件）
11月	14	521
12月	18	1,171
1月	3	195
2月	21	1,573
合計	56	3,460

(2) 市内郵便局

月	受付件数（件）
1月	56
2月	673
3月	47
合計	776

政策調整係

1 栃木市総合計画

本市の自治の最高規範である「栃木市自治基本条例」の規定に基づき、市の最上位計画としての総合計画を策定し、これに基づき総合的かつ計画的な行政運営を行っている。

総合計画は、本市の10年後の目指すべき将来像を定め、その実現を図っていく基本構想と、5年間の部門ごとの現状と課題、施策の方向性を取りまとめた基本計画で構成され、令和4年度においては、平成25年度に策定した総合計画が終了することから、第2次栃木市総合計画を策定した。

第2次栃木市総合計画策定に当たっては、令和4年度に策定懇談会を2回、策定委員会を5回、パブリックコメントを2回実施した。

令和5年度から令和14年度を計画期間とする第2次栃木市総合計画では、基本構想に掲げた「豊かな自然と共生し 優しさと強さが調和した 活力あふれる栃木市」の実現に向けて、各種施策の推進を図っていく。

また、総合計画の進捗管理は、栃木市行政評価制度により行い、栃木市市民会議委員による外部評価も併せて実施した。実施計画については、令和5年度・令和6年度分を策定し、実施する事務事業を明らかにした。

## 2 庁議

市長が主宰し、市政の基本方針等の審議または協議を行った。

- ・開催回数 26回
- ・内 容 審議事項 82件  
報告事項 33件  
連絡事項 6件

## 3 部長会議

副市長が主宰し、重要な事業等の審議または協議を行った。

- ・開催回数 10回
- ・内 容 審議事項 42件  
報告事項 9件  
連絡事項 2件

## 4 幹事課長会議

総合政策部長が主宰し、業務の調整及び連絡を行った。

- ・開催回数 9回
- ・内 容 審議事項 27件  
報告事項 14件  
連絡事項 2件

## 5 土地利用対策に関すること

土地利用の諸問題を、総合的に検討、調整し、本市の総合的かつ計画的な土地利用を図るため、栃木市土地利用対策委員会において協議を行った。

- ・廃棄物処理施設設置等について（文書照会：2件）

## 6 栃木市ふるさと応援寄附に関すること

市ホームページ及びふるさと納税ポータルサイトへの情報掲載やインターネット広告などを通して、PRに努めた。

内 容	数 量
寄附件数	35,579件
寄附金額	778,484,000円
返礼品数	約900品

## 7 栃木市企業版ふるさと納税に関すること

令和2年11月6日に地域再生計画の認定を受け、寄附の受付を開始した。また、ホームページに情報を掲載し、PRに努めた。

内 容	数 量
寄附件数	6件
寄附金額	9,200,000円※

※寄附金額非公開希望分は除く

#### 8 栃木市まち・ひと・しごと創生総合戦略に関すること

平成27年度に策定した「栃木市まち・ひと・しごと創生総合戦略」及び令和2年3月に策定した「第2期栃木市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、地方創生推進交付金を活用して、空き家・空き店舗・空き蔵を活用した重伝建地区活性化プロジェクトを実施した。

また、栃木市まち・ひと・しごと創生総合戦略有識者懇談会を開催して、総合戦略に掲げた各事業の進捗状況や地方創生関連交付金を活用した事業に対する意見や評価を聴取した。

#### 9 定住自立圏構想に関すること

定住自立圏構想は、平成27年3月に「中心市宣言」を行い、平成27年度6月議会において「定住自立圏形成方針」を定めた後、平成28年3月の定住自立圏共生ビジョン懇談会の開催等を経て、平成28年8月に「栃木市定住自立圏共生ビジョン」を策定している。

また、PDCAサイクルによる進捗管理を行っていくための成果指標（KPI）を設定するため、平成31年3月に「栃木市定住自立圏共生ビジョン」を改定し、令和3年3月に「第2期栃木市定住自立圏共生ビジョン」を策定している。

#### 10 小平浪平翁顕彰に関すること

平成30年10月5日に栃木市出身で株式会社日立製作所の創業者、小平浪平氏の生家の土地、建物が市に寄贈され、令和4年10月1日より施設見学の受付を開始した。また、同氏の功績を顕彰するための事業の財源に充てることを目的として、栃木商工会議所より1,000万円の寄附があり、これを原資として小平浪平顕彰基金を設置した。

##### (1) 基金の額 (単位：円)

令和3年度末現在高	令和4年度中増減高	令和4年度末現在高
26,690,419	6,022,000	37,712,419

##### (2) 運用の状況 (単位：円)

種 別	金 額
ふるさと応援寄附	3,205,000
企業版ふるさと納税	5,000,000

##### (3) 小平浪平生誕地見学者数 (単位：人)

種 別	人 数
見学者数	184

11 あわせて100歳ヒアリング事業に関すること

持続可能なまちづくりにつなげていくため、戦前の環境に対する負荷の少ない暮らしを体験している、現在90歳前後の方を対象としてヒアリングを実施した。

・件数 5件

12 蔵の街市民ギャラリーに関すること

令和3年3月に閉館した蔵の街美術館を、総合政策課に所管替えし、令和3年11月1日に蔵の街市民ギャラリーとしてリニューアルオープンした。内部にはギャラリーの展示室として3部屋、チャレンジショップのブースとして1部屋を設置した。

利用状況

種別	利用件数	利用日数	使用料
ギャラリー	10件	87日	161,600円
チャレンジショップ	2件	12か月	120,000円

13 マイナポイント等設定支援事業に関すること

マイナンバーカードの普及を促進するとともに、消費喚起や生活の質の向上につなげるためにマイナンバーカードを活用して幅広いサービスや商品の購入などに利用できるマイナポイントの付与等に係る支援業務を行った。

(1) マイナポイント等支援窓口

・マイナポイント等設定支援特設窓口（本庁舎及び各総合支所）

(2) マイナポイント等支援件数

月	支援件数（件）
4月	382
5月	410
6月	467
7月	1,884
8月	3,144
9月	4,098
10月	4,021
11月	5,418
12月	6,753
1月	6,238
2月	8,220
3月	7,869
合計	48,904

統計係

## 1 基幹統計調査

### (1) 学校基本調査（文部科学省）

学校教育行政に必要な学校に関する基本的事項（学校数、学級数、在学者数、教職員数、施設等）を明らかにするため、調査を実施した。

- ・調査期日 5月1日
- ・調査校

区 分	対象数
小学校	29校
中学校	16校※
幼稚園	5園
幼保連携型認定こども園	13園
専修学校	3校
各種学校	2校

※廃止2校、新設1校含む

### (2) 就業構造基本調査（総務省）

国民の就業・不就業の状態を調査し、就業構造に関する基礎資料を得るために実施した。

なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、調査員はマスク着用とし、回答方法はインターネット及び郵送とした。

- ・調査期日 10月1日
- ・調査対象 総務大臣が指定した調査区に居住する15歳以上の者
- ・調査区数 53調査区
- ・調査員 53人
- ・指導員 5人

### (3) 住宅・土地統計調査単位区設定（総務省）

令和5年度に実施する住宅・土地統計調査に先立ち、調査区域内の住宅等を把握し調査区の規模を適正に設定するために実施した。

- ・調査期日 2月1日
- ・調査対象 総務省が指定する調査区内の住宅等
- ・調査区数 227調査区
- ・指導員 21人

## 2 県単統計調査

### (1) 栃木県毎月人口調査

国勢調査の実施間における県下の常住人口と世帯数を推計し、その動向を明らかにするための調査で、市民生活課の資料を基に、本市における毎月1日から末日までの出生・死亡・転入・転出者数及び世帯の増減数を加減し推計した人口調査票を作成し、報告した。



### 3 その他の事業

#### (1) 統計調査員確保対策事業

指定統計調査を円滑に行うため、県の指導の下、統計調査員の募集、登録を行った。また、統計調査員の各種表彰の推薦を行った。

・統計調査員数 300人

#### (2) 市統計データ作成事業

市政の現状とその推移を明らかにするため、市に関する基本的な統計資料を収集し、ホームページ上に「令和4年度版統計データ」として掲載した。

各種統計調査の結果から栃木市の結果報告書として令和2年国勢調査における「移動人口の男女・年齢等集計結果」を作成し、ホームページ上に掲載した。

#### (3) 令和5年版県民手帳の周知

県統計協会からの依頼を受け、一部市内コンビニエンスストア及び一部書店にて販売される旨を周知した。

## スポーツ連携室 スポーツ連携係

### 1 プロスポーツ連携関係

#### (1) 各プロ及びプロに準じるスポーツ団体との連携

市内で活動を行う栃木シティフットボールクラブ、栃木ゴールデンブレース（エイジェック硬式野球部、エイジェック硬式女子野球部を含む）、宇都宮ブリッツェンと連携協定に定めた事項の推進、連携事業の構築を行った。

##### ア 3団体共通

試合情報や結果について、栃木市民スポーツ応援団“Strawberry Hearts”アカウントによるSNS上での情報発信や、市広報誌へのチーム紹介記事の掲載を行った。

##### イ 栃木シティフットボールクラブ関係

栃木市で開催されたホームゲームについて、栃木市民デーを設定し市民の無料入場を実施することで、市民への「みるスポーツ」の推進を図った。

また、市内小学校2校において学校訪問事業を実施し、栃木シティフットボールクラブによるサッカー教室や講和などを交えて、スポーツの振興を図った。

また、岩舟総合運動公園内に設置されたCITY FOOTBALL STATIONを活用し、栃木市と地域につながる連携事業として、グラウンド・ゴルフ3回、JCカップ、シニアクラブ岩舟支部体育祭、小野寺南地区スポーツ交流会を実施し、約1,970名が利用した。

##### ウ 栃木ゴールデンブレース関係

栃木市で開催されたホームゲームについて、栃木市民デーを設定し市民の無料入場を実施することで、市民への「みるスポーツ」の推進を図った。

##### エ 宇都宮ブリッツェン関係

藤岡渡良瀬運動公園で整備を行った渡良瀬サイクルパークの自転車専用コースの管理運営及び利用状況等の調査を委託し、各種自転車イベント・講座の開催を行うことで、広くサイクルスポーツの振興に努めた。

また、藤岡地区小中学校において、交通安全教室を開催し、生徒・児童への交通安全に対する意識啓発を図った。

(2) 栃木市民スポーツ応援団 “Strawberry Hearts” 関係

プロスポーツチームのスポンサーやファンクラブ等の既存の応援形態とは別に、市民が気軽に負担なくチームの応援の一步を踏み出すための受け皿として栃木市民スポーツ応援団 “Strawberry Hearts” を運営した。

ア Strawberry Hearts 会員

チームごとに、blue（栃木シティFC）、gold（栃木ゴールデンブレース）、red（宇都宮ブリッツェン）の3種類がある。

- ・年会費 無料
- ・特典 メンバー缶バッジの交付、応援団企画への参加
- ・会員数 766名

イ Strawberry Hearts 合同イベント関係

メンバーの方へ感謝の気持ちを込めて、また、より多くの人にチームを知ってもらうため、3チーム合同イベントを実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により実施を見合わせた。

2 渡良瀬サイクルパーク管理運営関係

令和3年度に国の拠点整備交付金を活用し、藤岡渡良瀬運動公園に整備した渡良瀬サイクルパークについて、令和4年4月29日に運用を開始した。

令和4年度の運用に関しては、管理運営委託をし、コース等の管理を行ったほか、ロードバイク体験会やBMX体験会などの企画を実施し、利用状況やニーズの調査を実施した。

また、提出された調査報告書を踏まえ、令和5年度以降の運用について、検討を実施した。

- ・利用者数 8,846名
- ・イベント等開催数 39回